



訪問ガイド 2026

# ルミエール・キャリア

レボー＝ドプロヴァンス・から 16.50€

<https://carrieres-lumieres.visit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 料金



## 歴史 & エクスペリエンス

### 起源 & 歴史

## 地獄の谷から光の大聖堂へ

GOOGLE **4.7** ★★★★★ 29 817 レビュー

TIQETS **4.7** ★★★★★ 2 364 レビュー

ボー＝ド＝プロヴァンスの丘の下、地獄の谷と呼ばれるこの場所では、かつて白い石灰岩が採掘されていました。1880年まで続いたこの活動は、城の建設に必要な2立方メートルのブロックを切り出すためのものでした。鉄棒やワノコギリを用いた熟練の技術により、巨大な地下空間が意図せず形成され、今日見る壮大なスクリーンの基礎が築かれました。

1935年、現代材料との競争により採石場は閉鎖されました。約40年間、静寂と忘れ去られた状態が続いたこの場所は、その素朴な美しさが先見の明のあるアーティストたちの注意を引きつけました。ジャン・コクトーは1959年にここで『オルフェの遺言』の一部シーンを撮影し、夢のような映画のための独自の舞台を見つけました。これにより、この場所はフランス映画史に永遠に刻まれました。

1975年、アルベール・プレシはこの場所を発見し、1977年に「イメージ大聖堂」フェスティバルを創設しました。壁面に巨大な映像を投影するこの先駆的なイニシアチブは、放棄された採石場を主要な文化空間に変えました。没入型デジタルアートの基礎を築いたこの試みは、後の時代における芸術体験のあり方を根本から変革させました。

2011年以降、ボー・ドウ・プロヴァンス市は公的サービス委託に基づき、管理をCulturespacesに委託しています。2012年の初回展覧会には25万人が訪れ、大きな成功を収めました。この引き継ぎにより、指定された自然サイトの完全性を保ちながら技術設備を近代化することが可能となり、文化的持続性が確保されています。

## 体験

入口をくぐると、地上の蒸し暑さとは対照的に、一年中涼しい温度を保つ地下空間が広がります。天然の岩盤でできた床は不揃いで、滑りやすい箇所もありますが、それはまさにこの場所の素顔です。足元を確かめながら進むと、高さが7～9メートルに及ぶ自然の柱が視界を埋め尽くします。

これらの柱はかつて屋根を支えるために残されたものですが、現在は巨大なスクリーンとして機能しています。暗闇の中で投影される色彩の魔法に包まれる瞬間、現実と幻想の境界が消え去ります。完全な没入の中、あなたは展示されている芸術の世界へと誘われ、時間の流れすら忘れるでしょう。



## 訪問の準備

## 実用的な情報

## 住所

ボー＝ド＝プロヴァンス、ヴァルダンフルにあります。  
D27県道からのアクセスのみ。直接の公共交通機関はありません。

## 営業時間

季節と学校休暇によって営業時間が異なります。訪問前に  
公式サイトで正確な時間帯を確認してください。

## 料金

年齢に応じて子供は無料（バリエントを確認してください）。  
オンライン予約が推奨されます。

## 訪問時間

完全な没入のために1時間から1時間30分を予定してください。  
オーディオガイドは必須ではなく、自由見学のため、  
ご自身のペースで各投影を楽しめます。

## 写真

写真撮影は通常許可されていますフラッシュや三脚なし  
で。他の訪問者を妨げないよう注意してください。現在の  
展覧会の特定のルールを確認してください。

## 対象

全年齢に適しています。注意：不規則な床のため適切な靴  
が必要です。小さいお子様には頑丈なベビーカーが推奨さ  
れます、それ以外は抱っこしてください。

## アクセス方法

## アクセス &amp; 交通手段



## 地下鉄

: Les Baux — 5 min à pied

Aix-en-Provence TGV (134 min) · Aéroport Avignon Provence (52 min)



## バス

: Les Baux — 5 min à pied

Aix-en-Provence TGV (221 min) · Aéroport Avignon Provence (85 min)



## 車

Aix-en-Provence TGV (180 min) · Aéroport Avignon Provence (67 min)



## 自転車

Aix-en-Provence TGV (247 min) · Aéroport Avignon Provence (91 min)

## LOCALISATION

## Où se trouve ルミエール・キャリア？



📍 Route de Maillane — 13520 レポー＝ドプロヴァンス

🌐 43°44.913' N, 4°47.785' E



## 組織

## 訪問の流れとスペース構成

### 地上レベル（入口）

入口付近には無料駐車場があり、ハイシーズンでも早めの到着が推奨されます。チケット購入後、ダンテの間への通路に入ります。ここから60メートル山の下に掘り下げられた巨大なホールへと続く道筋です。

### ダンテの間（地下）

主たる展示空間であるダンテの間は、高さが7〜9メートルの自然の柱がスクリーンとして機能します。かつての採石工によって屋根を支えるために残されたこれらの massive な柱は、類を見ない投影面を提供し、展示されている芸術の世界への完全な没入を生み出します。

### 付帯施設（カフェ・ショップ）

van Gogh室にはカーリエのカフェがあり、ファンゴッホの部屋でコーヒーや軽食を楽しむことができます。また、カルチャーギフトショップでは展覧会の記念品を購入できます。

### アクセシビリティ

#### 車椅子アクセス

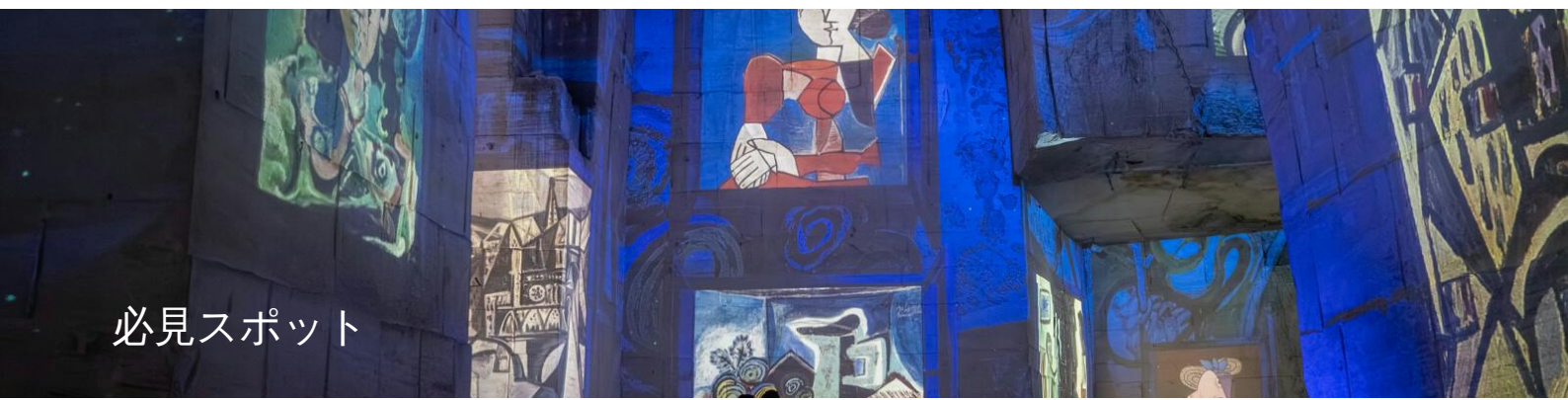
不規則な自然な地面のため、車椅子利用には注意が必要です。

#### ファミリー向け

頑丈なベビーカーまたは抱っこ紐の使用が推奨される家族向けです。

#### オーディオガイド

フランス語, 英語



## 必見スポット

### 選択

## 絶対に外せない体験ポイント

### 01 ダンテの間

#### ダンテの間

山の下に60メートル深く掘り下げられたこの空間は、高さが7〜9メートルの自然の柱がスクリーンとして機能します。かつての採石工によって屋根を支えるために残されたこれらの massive な柱は、類を見ない投影面を提供し、展示されている芸術の世界への完全な没入を生み出します。

💡 かつての採石工たちは、まず鉄棒を使い、その後ワニノコギリを使用して、現在巨大なスクリーンとして機能するこの壮大な地下建築を意図せず生み出しました。

### 02 ピカソ、フリーダ・カーロ ダンテの間

#### ピカソ & フリーダ・カーロ展

ダンテホール の壁面へのプロジェクションは圧巻です。荒々しい地質とデジタルアートの融合は純粋な驚きで、見逃せません。

💡 外は非常に暑かったですが、採石場内では寒くならないようにセーターが必要でした。

### 03 ダンテの間

#### Océan Les Intégrales

海底にいるような感覚で、強い感動を呼びます。没入型体験を通じて、海洋世界の神秘を体感できます。

💡 カップルで訪れた際、ヴァルダンフェールの雰囲気を楽しめました。

### 04 ゴーギャン、ファン・ゴッホ ダンテの間

#### ゴーギャン、ファン・ゴッホ展

2012年のCulturespaces主催の初回展覧会で、25万人が訪れました。この大きな成功は、没入型フォーマットの可能性をすぐに証明し、プロヴァンス＝アルプ＝コート・ダジュール地域で必見の文化的アトラクションの一つとして確立させました。

💡 この展覧会は、没入型デジタルアートの基礎を築いた「イメージ大聖堂」フェスティバルの系譜にあります。

## 05 ジャン・コクトー コクトー室

### ジャン・コクトーの撮影現場

1959年、ジャン・コクトーはこの採石場で『オルフェの遺言』の一部シーンを撮影しました。場所とその環境の美しさに魅了され、夢のような映画のための独自の舞台を見つけました。

💡 これにより、この場所はフランス映画史に永遠に刻まれました。

## 06 全館

### 白石灰岩の採掘跡

1880年まで、ここから2立方メートルのブロックがボー城の建設のために採掘され、これらの自然の柱が残されました。採石工たちは最初に鉄棒を使い、その後ワニノコギリを使用して、現在巨大なスクリーンとして機能するこの壮大な地下建築を意図せず生み出しました。

💡 約40年間、この場所は静寂と忘れ去られた状態が続いていましたが、その素朴な美しさが、独自の作品のための特別な舞台を求める先見の明のあるアーティストたちの注意を引きつけました。

## 07 van Gogh室

### カーリエのカフェ

村を探検する前に、ファンゴッホの部屋でコーヒーや軽食を楽しむためのグルメな休憩。

💡 訪問中の快適さを確保するために、天然地形の不規則さに耐えられる装備であることを確認してください。

## 08 周辺

### ボー＝ド＝プロヴァンス城との組み合わせ

観光ルート最適化のため、ボー城とル・キャリエールのチケットを同じ日に予約してください。これらの象徴的な2つのサイトは地理的に近く、中世の歴史と現代デジタルアートの間で完璧な補完性をもたらします。

💡 論理的なルートをご提案します：まず城（高所）から始まり、キャリアーへ下る、またはスケジュールに応じて逆順にする。

## アドバイス

## 最高の訪問のためのヒント

## TIMING

開館時に到着する:最初の時間帯は、ダンテの間を混雑なく楽しむことができ、写真撮影や完全な没入に最適です。

## PARCOURS

完全な没入のために1時間から1時間30分を予定してください。オーディオガイドは必須ではなく、自由見学のため、ご自身のペースで各投影を楽しめます。

## PAUSE

カーリエのカフェでファンゴッホの部屋でコーヒーや軽食を楽しむためのグルメな休憩。

## AUDIOGUIDE

オーディオガイドは必須ではなく、自由見学のため、ご自身のペースで各投影を楽しめます。

## BILLET

オンライン予約が推奨されます。特にハイシーズン（夏）と週末には予約が強く推奨されます。

## PHOTO

他の人を眩しくせずに投影を撮影するには、フラッシュをオフにし、カメラのISO感度を上げてください。

## ENFANTS

小さな子供連れの場合は、オールテレーンベビーカーをお勧めします。入口までの道は小石が多く、軽量モデルでは通行が困難な場合があります。

## CONFORT

靴底のある靴を履く:床は天然岩でできており、滑ったり凹凸があったりする可能性があります。ヒールやフラットサンダルは避けてください。



## よくある質問

## よくある質問

現在、リュミエールの採石場でどの展覧会が開催されていますか？

プログラムは定期的に変わります、時には年に複数回。訪問前に私たちの予約ウィジェットまたは公式サイトを通じてテーマと正確な日付を確認することが不可欠です。この変化は体験を更新可能にしますが、終了していないまたは開始されていない展覧会に関連する失望を避けるために事前の確認が必要です。

チケットを事前に予約する必要がありますか？

はい、特にハイシーズン（夏）と週末には予約が強く推奨されます。これによりアクセスが保証され、正確な時間帯を選択できます。混雑時期には席数が制限される可能性があるため、事前に計画することで行列を避け、訪問を安全に確保できます。

グループ割引はありますか？

グループやファミリー向けの特別な料金が設定されていることがよくあります。オンライン予約時に利用可能なオプションをご確認ください。同伴する子どもは年齢に応じて無料または割引入場

予約をキャンセルできますか？

キャンセルポリシーは購入したチケットの種類によって異なります。一般的には、訪問日の数日前までなら無料キャンセルが可能です。注文確認時に記載された具体的な条件を確認し、正確な期限をお確かめください。

見学にはどのくらいの時間がかかりますか？

完全な見学には約1時間から1時間30分ほどお時間を確保してください。オーディオガイドの貸出は必須ではありませんので、ご自身のペースで自由に体験いただけます。ダンテの間やその他のプロジェクションスペースで雰囲気をご存分に味わってください。

## ご存知ですか？

## エピソード &amp; トリビア

## ジャン・コクトーの撮影

1959年、ジャン・コクトーはこの採石場で『オルフェの遺言』の一部シーンを撮影しました。場所とその環境の美しさに魅了され、夢のような映画のための独自の舞台を見つけました。これにより、この場所はフランス映画史に永遠に刻まれました。

## イメージ大聖堂の誕生

アルベール・ブレンは1975年にこの場所を発見した後、1977年に「イメージ大聖堂」フェスティバルを創設し、壁面に巨大な映像を投影しました。この先駆的なイニシアチブは、放棄された採石場を主要な文化空間に変え、今日私たちが知る没入型デジタルアートの基礎を築きました。

## 白石灰岩の採掘

## 来場者数の記録

## 博物館周辺

訪問前後には、周辺の魅力的なスポットもぜひ楽しんでください。ポー＝ド＝プロヴァンス城は谷を見下ろす要塞化された城で、アルピル地方と地中海への素晴らしいパノラマビューを提供します。また、村の路地を散策したり、カーリエのカフェでファンゴッホの部屋を楽しみながらコーヒーや軽食を取ったりすることもできます。近隣の葡萄園ではAOPワインの試飲も可能です。



ボー＝ド＝プロヴァンスのこの隠れた宝石は、単なる観光名所ではありません。それは、光と影が織りなす詩的な体験であり、あなたの記憶に深く刻まれる瞬間を提供します。一度訪れたら、きっとまた戻りたくなるでしょう。